

		児童館事業	学童クラブ事業
壬生児童館	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○気軽に立ち寄り、地域に親しまれる児童館となれるよう、乳幼児クラスや子育て支援講座等の充実を図ります。 ○遊びを通して、子どもたちの健全育成と社会性の向上を目指します。 ○地域の関係機関と情報を共有し、連携を深めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣を身につけ、遊びや集団生活を通して協調性や自主性を養います。 ○子どもたちが主体的に活動し、一人ひとりが活躍できる機会や場となるように努めます。 ○保護者が安心して預けられるよう信頼関係を築きます。 ○学校や地域、関係機関と連携を図ります。
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ○登録制の乳幼児クラブでは、0歳児クラスの利用者が増え、取組後のランチタイムも一緒にゆっくり過ごされるなど、子どもだけでなく、保護者同士の交流が深まりました。 ○毎月の子育て支援講座の1つとして、母親同士で結成した歌のサークルによるコンサートの機会をつくることができました。コロナ禍を経て5年ぶりのコンサートは大盛況で、来場者の中にはメンバーに入りたい方も出るほどでした。今後も利用者が一緒になって楽しめる内容を工夫していきたいです。 ○実習中の大学生による防災教育やフリーマーケットの開催、小学生と乳幼児親子の要望から、実習生との交流の取組をすることができました ○卒館生の高校生は、遊びや学習支援のボランティア活動をしたいと通い、秋祭りには工作ブースを担当し、大盛況でした。いろいろな人が気軽に集える場所として、今後も地域と共に取組を充実させてまいります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○お誕生日会や大きな行事の中で、子どもたちの「やりたい」気持ちを大切に、どの子にも出番があるように工夫してきました。それぞれの役割を果たすことで自信に繋がり、友達のことを認め合い、周りのことも考えて行動することが増えました。年度末には学年ごとにこども会議を開き、振り返りと今後について話し合うことができました。「自分たちが（職員も一緒に）創っていく学童クラブ」という意識が強まりました。今後も学童クラブにしかできない子どもたちのドキドキワクワクを創っていきたいと考えています。 ○秋祭りでは、運営協力会・社会福祉協議会・民生児童委員の方々・みぶ会保護者などの協力を得て、キッチンカーも含めた食べ物ブースの復活が実現しました。こどもたちも模擬店の準備から当日の役割まで班メンバーで協力しながら取り組み、買い物も楽しみました。お店をする側の大変さや、人と協力することの難しさも経験すると同時に、多くの人とも交流が図れました。 ○登録制の教室・クラブでは、真剣に練習と向き合い、メンバーの一員となって頑張る姿や、本番で力を発揮する姿が見られました。